



主な内容

- 小池市長4選 2
- 4期目加茂市長就任にあたって... 36
- 県議会委員・市議会議員の横顔... 79
- 功労をたたえ 春の叙勲 1011
- 社会貢献に感謝 市特別表彰 11
- 第41回雪椿まつり 1214
- 加茂の風土記 16

表紙：ミス雪椿・左から 滝沢さん, 吉崎さん, 徳橋さん



小池清彦氏が 市長に四選されました

四月二十二日に投開票が行われた加茂市長選挙において、小池清彦氏の四回目の当選が決まりました。

翌二十三日には、四期目の登庁セレモニーが行われました。大勢の市民と市職員が拍手で出迎えるなか登庁した小池市長は、手渡された花束を受け取り、一人ひとりと固い握手を交わしながら庁内に入り、早速、市長室で公務に臨みました。

小池市長の新しい任期は、五月十日からの四年間で、四期目の小池市政がスタートしました。

お気軽においでください

市民と市長の「よもやま話」の日

八月 九日(木)

二十三日(木)

三十日(木)

午後一時三十分から行います

【受付・問い合わせ】

市役所三階総務課広報広聴係
(TEL 52-0080 内線331)

四期目の加茂市長就任にあたって



加茂市長

小池 清彦

このたび四月二十二日（日）に行われた統一地方選挙の加茂市長選挙で当選させていただきました。誠にありがとうございます。市民の皆様のおかげです。

市民の皆様の御信任を賜りまして、心から感謝申し上げます。

四期目の任期となりましたが、ますます市民の皆様への御信任の重さを自覚し、心して、市民の皆様中心の真の民主的市政を推進し、よもやま話を活発に行い、市民の皆様お一人おひとりを大切に、お幸せにしていきたいと思います。

このたび掲げました公約の重点及び公約は、次のとおりでございますが、一生懸命努めてまいります。何とぞよろしく御指導、御鞭撻くださいますよう、お願い申し上げます。

公約の重点

みんなで市民中心の民主的市政を守りましょう！

加茂市にさらに大きな夢と常に新しい風を！

独立を守った小京都加茂市万歳！

良好な財政状況のもと加茂市は燦然と輝く！

日本一の福祉

日本一の児童福祉

行きとどいた教育

日本一の商工業支援

日本一の農業支援

日本一の自然環境保護

国・県との太いパイプ

救命救急センターの加茂市内建設をめざす

第三平成園を建設する

加茂川・下条川の土手をかさ上げる

愛情と献身

公 約

○真の民主的市政を推進し、市民と市長のよもやま話を活発に行う。

○市民の皆様お一人おひとりを大切にし、幸せにする市政を推進する。

○合併で消滅せず存続した加茂市をさらに燦然と輝かせる。

○救命救急センターを加茂市内に建設することをめざす。国道四〇三号線バイパス沿いの下条の地に加茂病院を移転改築し、そこに救命救急センターを開設することをめざす。

○第三平成園の建設に着手し、供用開始をめざす。

○加茂川と下条川の堤防のかさ上げを行う（加茂川は今年度着手決定。）早期完成のため全力を尽くす。

○日本一の福祉、児童福祉、健康施策の水準を堅持する。

○日本一の商工業支援の水準を堅持する。

○日本一の農業支援の水準を堅持する。

○日本一の自然環境保全の水準を堅持する。

○日本一のスクールバスの体制を堅持し、高い教育の水準を堅持する。

○小学校六年生までの医療費を入院完全無料、入学前の乳幼児を通院原則無料とする県内トップの水準を堅持する。

○在宅介護料・看護料の無料を堅持する。

○県下二十市中最低クラスの保育料を堅持する。

○県下二十市中最低クラスの介護保険料を堅持する。

○県下二十市中最低の水道料を堅持する。

○加茂大橋を完成し、平成二十二年度に渡り初めを行う。

○信濃川の堤防のかさ上げという千年に一度の好機に両岸の土手に対面通行できる市道を整備し、河川敷に桃の花の公園を整備する。

○加茂市全体の洪水ハザードマップを作成する。

○防災同報無線（理想は各戸無線）の整備に着手

する。

○加茂警察署の廃止を断固阻止する。

○国道四〇三号線バイパスの早期整備を推進する。

○五番町、新町の商店街近代化事業（街路拡幅事業とアーケード整備事業）を推進する。

○都市計画道路根古谷中央線を完成する。

○県道出戸村松線の整備を推進する。

○若宮町・長福寺間を含む県道天神林上条線の整備を推進する。

○市道稻荷面横線の整備を推進する。

○市道黒水土倉線のさらなる整備を常に念頭におく。

○加茂市全域にインターネットの光ファイバーサービスを広げる。（西加茂と須田は完了）

○加茂市全域で携帯電話が使用できるようにすることをめざす。

○高柳の圃場整備を完成し、下条の圃場整備の完成をめざす。

○須田の広域農道の整備を推進する。

○林道今滝冬鳥越線の残りの部分即ち大登峠と大皆川間の整備を推進する。

○こども医療費助成のさらなる充実をめざす。

○障害のある方々を全力をあげて支援する。

○下水道を着実に整備する。

○昨年十二月下旬から加茂市中が粟ヶ岳の水を飲むようになったが、水道事業を円滑に推進する。

○大谷地区の水道整備を十九年度に完了する。

○平成二十一年の新潟国体をめざし、体操トレーニングセンターで体操選手の育成の強化を図る。

○温水プールやサッカー場をはじめ、各種のスポーツ施設の利用を盛んにし、スポーツを振興し、選手の育成の強化を図る。

○西小学校の建設をめざすことを常に念頭におく。

○知的障害者援護施設の建設をめざすことを常に念頭におく。

○文化会館では、極力国の資金を利用して、常に世界と日本のトップアーティストの招聘に努め

る。

○加茂市史の刊行を円滑に推進する。

○加茂市のトップセールスマンとして、地場産品の販路拡大に努め、桐タンスの海外進出をめざす。

○美人の湯と多くのコミュニティセンター等を豊かに運営する。

○加茂山公園、冬鳥越スキーガーデン、下条川ダム公園、粟ヶ岳県民休養地、若宮公園、二万年前旧石器公園その他の公園を豊かに運営する。

○五番町のいっつフードセンターを含む地域交流センターと中央コミュニティセンターを円滑に運営する。

○西加茂、千刈、五番町等において、豪雨のときに浸水が起こらないようにするため、常に全力を尽くす。

○育成会の活動をしつかりと支援する。

○道路、水路をはじめ万般にわたり市民の皆様の御要望は、すべて実現することを期する。

○国・県とのパイプをますます太くし、国・県の資金を大量に導入して豊かな市政を運営する。

○労働界と緊密に連携し、働く方々のお幸せのために一生懸命支援する。

○先般制定された国民保護法は、有事の際住民を戦闘に巻き込み、沖縄戦と同じことになる。加茂市は、「戦時平和都市宣言」を行い、赤十字の旗十万本を立て並べて、ジュネーブ条約によって市民の安全を確保することが最善の策であると考える。

○田上町との合併を強く主張する人達は、その後三条市に合併されることを狙っている。うかつに乗ってはならない。

○平和憲法を守り、海外派兵と徴兵制を阻止する。

県議会議員選挙

金谷国彦氏が当選

三月三十日に告示された、新潟県議会議員一般選挙加茂市南蒲原郡選挙区では、四月八日に投票が行われました。この選挙で金谷国彦さんの当選が決まりました。



金谷国彦氏
（元加茂市教育委員
長、国学院大学卒
71歳 上興屋向）

新しい市議の顔ぶれ

四月二十二日に行われた市議会議員一般選挙は、今回から定数を二十人として、これを二人上回る立候補者で選挙が行われました。開票の結果、新人四人を含む新議員の当選が決まりました。

広報かもでは、これからの街づくりにご活躍いただく議員の皆さんから各項目についてお答えいただき「20市議の横顔」として紹介します。

紹介する内容 ①趣味 ②座右の銘 ③セールスポイント ④いま加茂に望まれるもの ⑤任期中に実現させたい施策

五十音順・敬称略・□の中の数字は期数

20

加茂市議会議員の横顔

まちづくりの推進役

あん なか ひろし
安中 弘 ③ (69歳・五番町)

- ①飲み交わし、談論風発すること
- ②一生感動 一生青春
- ③気力・体力



- ④ 自立の道を選んだ加茂市、市民として、誇りをもって安心して生活するためにも、中・長期の市民共有の目標・計画の策定
- ⑤ 商店街の街路事業と近代化事業の完了
・地場産業の振興

おお せき かつ まさ
大関 勝正 ⑤ (65歳・小橋1)

- ①囲碁
- ②誠心誠意
- ③真面目に取り組む
- ④温泉施設の正常稼働



- ⑤ 行政手続条例の制定

おお だいら かず たか
大平 一貴 ① (34歳・栄町)

- ①フットサル、テニス、旅行
- ②意思あるところに道は開ける
- ③意志の強さ
- ④市民が積極的に参加した街づくり



- ⑤ 部活動の専任指導者採用、図書館の月曜開館、議員数削減、議員視察廃止、選挙カーへの公費負担廃止、美人の湯とコミュニティセンターの風呂の運営見直し、ペットボトルのリサイクル、JR加茂駅西口の道路整備、市民アンケートの実施 等

お の ぎ ち た ろ う
小野 吉太郎 ③ (62歳・下高柳)

- ①作物を育てること
- ②克己忍耐人間常道
- ③人に温かく思いやる心
- ④産業振興と雇用の促進



- ⑤ 議員定数減
・携帯電話不能地域の解消

かめ やま しげ みつ
亀山 重光 ① (57歳・石川1)

- ①これといって特になし
- ②特になし
- ③やさしさと思いやり
- ④市民が主役の市政運営と住民との協働



- ⑤ 住民合意による総合計画の策定

加茂市議会議員の横顔

まちづくりの推進役

さ の せいさぶろう

佐野 正三良 [7] (57歳・新町2)

- ① 鯉つり、映画、旅行
- ② 『一人の人を大切に』『大人に己なし』
- ③ 現場第一主義、市民本位、是々非々、誠実



- ① 経済の活性化、第三平成園の建設、救命救急センターの建設
- ⑤ 光ファイバーの敷設、企業誘致、いじめ暴力の根絶

しげおか あきよし

茂岡 明与司 [4] (63歳・中大谷)

- ① 読書
- ② 徳川家康遺訓「人の一生は…」
- ③ 誠実
- ④ 各産業の活性化



- ⑤ 救命救急センターの誘致、国道403号線バイパスの完成

せき たつ お

関 龍雄 [6] (67歳・八幡2)

- ① 土いじり(野菜作り)、山歩き
- ② 和顔愛語
- ③ 元気印
- ④ 市内に職場の確保(商工業の活性化)



- ⑤ 救命救急センター設置の具体化と加茂病院の改善

たか い たもつ

高井 保 [2] (70歳・新栄町)

- ① 下手な横好きで写真とゴルフを少々
- ② 行くに徑に由らず。疾風に勁草を知る。最近、この二つの言葉に感銘を受けています。
- ③ 是是非非を常に心に構え行動的であること。



- ④ ・中長期総合計画のもとビジョンを持つこと。
・行財政の徹底した透明度の向上と公表すること。
- ⑤ 市の身の丈に合った議員定数削減を

たかはし よし お

高橋 禎雄 [4] (63歳・新町2)

- ① 還暦野球、加茂松坂の笛と唄
- ② 大局着眼、小局着手
- ③ 笑顔、正直、思いやり



- ④ 少子化対策、企業誘致と地場産業の振興、中心市街地(商店街区)の再生・振興
- ⑤ 第三平成園の建設、小京都にふさわしい景観づくり、交流人口(観光客等)を加茂市経済の活性化に結びつける

なか の もと えい

中野 元栄 [3] (58歳・岩野)

- ① 山歩き
- ② 心
- ③ 初心を忘れず、政治活動を行う



- ④ 災害・医療等の安全安心対策、産業・経済活動の振興
- ⑤ 災害に強い加茂市

ひぐち こうじ

樋口 浩二 [6] (65歳・青海町1)

- ① 山登り、魚釣り
- ② 温故知新
- ③ 人の心を大切に共に行動する



- ④ 加茂市の活性化を目指して産業を振興させ、社会福祉の充実した加茂市づくり
- ⑤ 市街地環境整備、教育施設整備、農業を含む産業振興、救命救急センターの誘致、加茂病院と地域医療充実、知的障害者施設等、福祉の充実した街づくり

ひぐち ひろむ

樋口 博務 [5] (59歳・後須田第3)

- ① 花・絵画鑑賞
- ② 初心忘るべからず
- ③ 市政は思いやりと情熱



- ④ ・安全で安心して暮らせる街づくり
・救命救急医療体制の整備
- ⑤ 加茂大橋の早期完成、信濃川河川公園(仮鶴森花公園)の完成

ひろの とよさく

広野 豊作 [2] (67歳・若宮町1)

- ① 読書、ハイキング
- ② 不言実行
- ③ 提言型質問の実践
- ④ 産業振興、財政強化



- ⑤ 少子高齢化社会に安心の具現化

ほさか ゆういち

保坂 裕一 [1] (46歳・穀町)

- ① スポーツ観戦・談議、クラシック鑑賞
- ② 自分から自分らしく皆のために。
- ③ 「商人」の発想、是々非々



- ④ 地域経済振興→市税、市民所得の向上→商店街活性化→豊かで住み良い街
- ⑤ ・教育ヘルパー制度（仮称）の導入
・行政コスト、補助金配分の見直し

もりかわ ゆたか

森川 豊 [1] (60歳・下興屋向)

- ① ハイキング、囲碁
- ② 努力
- ③ 誠実、物事を積極的に対応する
- ④ 豊かで健康なまちにするために行政の透明度向上を図る



- ⑤ ・農林業、地場産業を守り、商工業の振興策の支援強化
・学校施設、加茂病院の充実
・障害者、女性が安心できる福祉の充実
・雨による浸水防御対策の向上
・生活関連事業の継続を図る

もりやま かずみち

森山 一理 [2] (49歳・都ヶ丘)

- ① 路上観察学
- ② 念ずれば花開く
- ③ 明るく、強く、たくましく！
- ④ 自主財源創生確保・社会教育



- ⑤ ・子育て環境の整備
・少子高齢化対策
・環境問題への一人ひとりの意識づけ

やすたけ ひでとし

安武 秀敏 [5] (67歳・幸町2)

- ① 社交ダンス
- ② 誠
- ③ 正義感
- ④ 市民参加の市政



- ⑤ 地域医療の充実、道路整備の促進、24時間介護

やすだ のりよし

安田 憲喜 [3] (65歳・赤谷)

- ① ゴルフ
- ② 初心忘るべからず
- ③ 親しみと思いやり
- ④ 救命救急センターを加茂市内に建設



- ⑤ 誇りと愛着の持てる住みよいまちづくり

やまだ よしえい

山田 義栄 [3] (53歳・上興屋向)

- ① スポーツ（ゴルフ）、パソコン
- ② 初心忘るべからず
- ③ 誠実、思いやり
- ④ 地場産業（農林業も）の振興



- ⑤ 救命救急センターの設置

長年の功勞・功績をたたえ

春の叙勲・褒章

春の叙勲・褒章で、加茂市から四名の方が受章の榮譽に輝きました。その喜びの声をうかがいました。

瑞宝双光章

(教育功勞)



金澤理久夫さん
(高須町2・70歳)

「私ですか?という感じで、びっくりしました。子どもたちと一緒に遊んで学び、一人前の教師に育ててもらい、まず子どもたちに感謝」というのが叙勲の感想です。金澤さんは、昭和三十五年から教員生活三十七年。二十代後半で勤務した加茂小学校で「市も教育に力を入れ、優秀な先生の指導のもと、学級づくりや教員としての基礎を勉強した気がする」と振り

返ります。再び加茂市内の学校教壇に立ちたいという思いは、最後に校長として勤務した若宮中学校で実り、「教え子が加茂に戻った歓迎会やら、退職時には祝う会を開いてくれて感激し、うれしかった」と言います。

教職を勇退した年の十月から、市の教育委員を務め、昨年六月からは市社会福祉協議会の会長になり保護司も務めています。また、二十代のときから続けてきたボーイスカウトの活動では、県内トップの新潟連盟理事長を務めて指導者研修や会議に忙殺されています。「人生、人の世話になってばかりで、生きている間にお返しをしたいと最近よく思うようになってた」ということです。

瑞宝双光章

(更生保護功勞)



中川長次さん
(穀町・71歳)

加茂地区保護司会では最古参として、昭和五十一年から今日までの約三十一年にわたり保護司を務め、罪を犯した人たちの更生に尽力しています。

「本当に光栄で、お世話になった恩師や先輩など、支えてくれた皆さんに感謝しています」と、受章を素直に喜びます。

「保護司には坊さまが多く、父親が親しい坊さまに頼まれ、恩師の坊さま二人も当時保護司で断れなかった」と、引き受けたいきさつを振り返ります。少年非行の場合「甘やかすことなく、子どもを真剣に思っていることを分からせる、しっかりした親の役割とともに、友達との交友関係が非行防止や立ち直りには不可欠」と語ります。

中川さんは、保護司のほかにも

瑞宝单光章

(警察功勞)



横山昭午さん
(幸町1・76歳)

危険業務従事者での榮譽に、「ただ、はじめに働いてきただけで特別なことは何もしていません」と恐縮しています。

横山さんは、三条市の出身で、警視庁の警官採用試験に合格して昭和二十六年秋に単身上京、警察学校を卒業し、翌年五月、巢鴨署に配属されました。この年には「血のメーデー事件」があり、昭和二十年代、三十年代は騒乱の時代で

した。「デモの警備に出ても装備は今から見れば粗末で、盾は木製でした。つらいことも過ぎ去ってみれば懐かしさもあります」と、三十六年余りの警察人生を回顧しています。

家を守ったのはトシ夫人で「仕事で何日も帰らないこともあり、心細い思いをしたことも。叙勲と

藍綬褒章

(社会福祉功績)



小池 静 夫さん
(八幡 3・78歳)

褒章の榮に浴し「身に余る光榮で、大勢の方々の長年にわたる温かい指導、支援のおかげです」と、周囲に感謝します。

小池さんは、昭和五十五年から二十四年間にわたり、家業の農業の傍ら、民生委員・児童委員を務めました。異変に気づいて駆けつけてみると女性ばかりの家庭に二の足を踏み「家内から手伝ってもらったり、女性が多い一人暮らし

いう褒美をいただいたようで本当にありがたいこと」と喜びます。

退職後は、トシ夫人の出身地の加茂に転居、下条体育センターの管理人を十年ほど務めました。これまで大きな病気をしたことがないという健康の秘けつは、趣味の畑仕事ということです。

老人の弁当配りなど、家内の協力がなければ、こんなに長く務められませんでした」と、妻のタケノさんにも感謝の弁です。

「気楽に引き受けたものの福祉サービスの制度充実や向上に伴い、調査や連絡など仕事も多様化して、民生委員の仕事量も多くなりました。本当に困った人たちと共に考え、微力ながら幾らかでも力になれたことをうれしく思います」と、福祉行政の裏方を支える苦勞を語ります。

民生委員の役員も歴任しましたが、七十五歳を過ぎて、ひざの具合も悪く、家庭訪問が思うようになり、できなくなり、惜しまれながら平成十六年に引退しました。

加茂市表彰

加茂市では、保健衛生において献血による社会貢献に感謝し、次の皆さんを表彰しました。(敬称略)

特別表彰

保健衛生功勞

布施美香 (49) 献血三百回以上。

松坂町

溝口敏磨 (62) 献血二百回以上。

第二十三区

坂内義和 (59) 献血百五十回以上。

石川一

昆 勝良 (66) 献血百回以上。

青海町一



野口 誠 (55) 献血百回以上。

高須町一

田村徳至 (39) 献血百回以上。

矢立

長谷川治男 (57) 献血百回以上。

寿町

長谷川聡一 (37) 献血百回以上。

横江

菅家秀一 (50) 献血百回以上。

秋房

志田和正 (51) 献血百回以上。

第一区

捧 公範 (51) 献血百回以上。

早田

渡邊省市 (54) 献血百回以上。

新町二

宇田道弘 (54) 献血百回以上。

芝野

福島健一 (58) 献血百回以上。

新町一

第41回 雪椿まつり



左から ミス雪椿の滝沢千絵さん、ミス雪椿クイーン of 吉崎和美さん、ミス雪椿の徳橋美優さん

暖冬の影響でしょうか、加茂山のユキツバキやサクラは、例年より早い開花となりました。今年の雪椿まつり大園遊会は、花の見ごろに合わせて少し早めとなりましたが、当日の空模様により二年続けて市民体育館での開催となりました。

今年の雪椿まつりは、十四日に大園遊会、十五日トレジャーハンティング、二十二日に雪椿杯争奪バレーボール大会、二十九日に市民茶会、三十日に献花祭の各行事が開催されました。

〔14日、大園遊会〕

開催日に雨が予想されたため、市民体育館での開催となりました。加茂山公園のユキツバキやサクラが見ごろを迎え、会場にもおぜいの皆さんからおいでいただきました。

ミス雪椿公開審査では、ミス雪椿クイーンに市内の吉崎和美さん、ミス雪椿に滝沢千絵さん（新潟市）と徳橋美優さん（五泉市）が選ばれました。この三名からは、加茂市の観光PRやイベント・セミナーで活躍していただきます。

アトラクションは、加茂松坂協会、金踊会、加茂松坂保存会、雪椿民踊保存会による賑やかな踊りが披露されました。



歓迎大島で握手する
小池市長と内藤副町長



ミス雪椿公開審査



BSN・水島アナと
歌手の多岐川舞子さん



宮下好文 新潟県観光企画監



菊田まきこ 衆議院議員



客席で歌う 多岐川舞子さん

【市中パレード】
午後三時からはJR加茂駅前からパレードが出發。ミス雪椿に選ばれたばかりの吉崎さん、滝沢さん、徳橋さんとミス大島の紀室輝美さんには、沿道から声援が送られていました。県警音楽隊とカ

続いての歌謡ショーは、歌手の多岐川舞子さんを迎えて、「信濃川」「雪椿」の歌が披露され、客席から大きな拍手で楽しい歌とお話のステージとなりました。

大島町との交歓会では、大島町・内藤茂男副町長と小池清彦加茂市長の間で、記念品の交換と固い握手が交わされました。

【雪椿マラソン】
午後二時三十分のJR加茂駅前では、三・五・十キロメートルの各コースに出場する百七十九名の選手が一斉にスタートしました。

ラーガーズを先頭に交通安全協会、交通安全母の会、一栄吹奏楽団、大島町の皆さん、自衛隊音楽隊、少年消防クラブ、本量寺保育園・下条保育園の幼年消防クラブの子どもたちが参加しました。



大島町婦人会の皆さん



加茂松坂協会



御神火太鼓



金踊会



ミス大島の紀室輝美さん



雪椿民踊保存会



加茂松坂保存会



ミス雪楯の
滝沢さんと徳橋さん



ミス雪楯クイーン吉崎さんと
ミス大島の紀室さん



交通安全協会 管理者部会



県警音楽隊 カラーガーズ



自衛隊音楽隊



一栄吹奏楽団



下条保育園 幼年消防クラブ



本量寺保育園 幼年消防クラブ



市民茶会



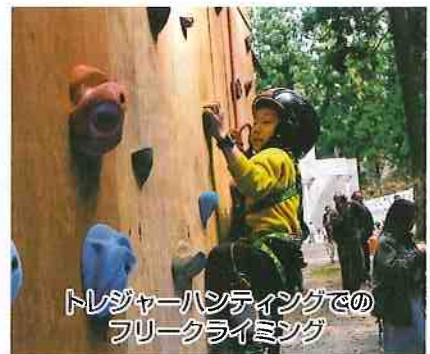
雪楯杯バレーボール大会

【15日、トレジャーハンティング】
野外ステージ周辺をメイン会場に、加茂青年会議所など七団体がゲームやおもちゃ作りを楽しみました。約四メートルの垂直の壁に登るフリークライミングには、おぜいが挑戦していました。
【22日、雪楯杯バレーボール大会】
県内各地の家庭婦人バレーボールクラブ・十七チームが出場して行われました。優勝は過去に何度

も優勝経験のある「豊浦クラブ」。昨年優勝の「新潟ひかりクラブ」は豊浦クラブに敗れ、三連覇達成とはいきませんでした。
【29日、市民茶会】
青空の広がるもと、杉木立、池ノ端、青海神社貴賓席の三席で市民茶会が行われました。和服で茶席に向かわれる方が多く見られ、ゆつくりとお茶を楽しまれているようでした。



雪楯マラソンのスタート



トレジャーハンティングでの
フリークライミング

第28回雪椿マラソン

期日 四月十四日

午後二時三十分・駅前スタート

出場選手 百七十九名

【3kmコース 駅前〜駒岡橋〜陸上競技場】▼小学三・四年男子①田澤悠大(加茂南小)②塚野隆介(村松東小)③水野健太(下条小)▼同女子①高科唯(五泉少年マラソンクラブ)②大竹彩加(同)③田沢瑞海(加茂小)▼小学五・六年男子①貝沼遼・最優秀選手賞(五泉少年マラソンクラブ)②眞柄幸季(下条小)③斉藤健太(五泉少年マラソンクラブ)▼同女子①阿部柚希(五泉少年マラソンクラブ)②立川千華(同)③涌井華奈(同)▼中学生女子①高山琴海・最優秀選手賞(新潟市)②



大野仁子(同)③横山みわ(同)▼一般・高校女子①田中真弓(晴麗看護学校)②波塚美奈子(下条小教)③鶴巻ジュディ(市内)

【5kmコース 駅前〜小貫橋〜陸上競技場】▼中学生男子①知野雅敏(五泉北中)②吉田風(三条市栄中)③田邊匠(葵中)▼一般・高校男子①小出正好(北越製紙)②中村隆之(加茂高)③佐藤亮(小柳建設株)▼壮年男子①千葉光幸(明和工業株)②阿部浩巳(大通ランナーズ)③目黒秀樹(市内)

第23回雪椿杯争奪 加茂市近郷家庭婦人バレーボール大会

期日 四月二十二日

会場 勤労者体育センター

参加チーム 県内十七チーム

優勝 豊浦クラブ(新発田市)

準優勝 白根クラブ(新潟市)

三位 白鳩(新潟市)

ほないクラブ(三条市)



【個人賞】

最優秀選手賞 湯浅由美子(豊浦ク)

優秀選手賞 萩野智子(白根ク)

敢闘賞 渡辺恵奈(白鳩)

石塚弘子(ほないク)

技能賞 中野美和子(豊浦ク)

鴛尾こずえ(白根ク)



第59回加茂市少年野球大会

期日 四月三十日

会場 七谷・川西野球場

【結果】

優勝 葵中学校

準優勝 田上中学校

第26回全日本学童野球中越大会予選会

期日 四月三十日、五月三日

会場 七谷・川西野球場

【結果】

優勝 ブラックベアーズ

(長岡市での中越大会に出場)

準優勝 七谷ベアーズ



もうすぐ100年 七谷小学校の森林公園

七谷小学校の森林公園「つつじがおか」は、校舎裏の山の斜面を利用して造成されている。水場の上の桜が散った五月、見上げると二本のブナの大木の黄緑の葉がまぶしい。

ここで遊んだ思い出は、多くの卒業生にとっては忘れられない。現在も在校生が元気に走り回っている。前景に多数のツツジを配置し、中央はブナを中心とした広葉樹、上部の奥にはツガやクロベなどの針葉樹が植えてある。百年の歳月を経て、高木性の樹木は背丈も伸び、枝を広げて他を押し、低木のツツジは豪雪に耐え、たくましく育っている。このたくましさ

が「つつじがおか」の名前の由来なのだろうか。昭和四十年代にはこの名が使われていたと記憶する。

胸高直径八十センチを超えるブナの巨木を筆頭に、コマツガ・ツガ・ク

ロベの針葉樹、サクラ・シラカシ・ホウ・トチノキなど広葉樹、いずれも太さ五十センチ内外と他を圧している。ツツジの群生の中にムラサキシキブの株も元気。ほかにイチヨウ・カツラ・カエデ(紅葉)・アカマツなど多様な樹木がある。戦後に植えられたシャクナゲもピンクの花をつける。

森林公園が計画されたのは、明治四十三(一九一〇)年四月。当



七谷高等小學校附屬森林植物園

造園初期の森林公園

時、七谷村が模範村として全国二十九町村の一つに選ばれ、この選奨披露式で記念事業の一つとして発表された。それは「山林四反三畝歩を買収して、一部を森林公園とする」というものであった。大正十三(一九二四)年発行の『学校経営要覧』に「二反九畝ノ学校園ヲ設ケ」とあるから、この面積が造成されたと思われる。

植林樹種などの基本設計は、加茂農林学校の後藤教諭に委託された。彼は設計にあたり、後に東京の「明治神宮の森」の設計に参画する東京帝国大学・本多静六教授の指導を受けたといわれている。

この設計のもとで、中心部にブナを植え、ツツジを前景に配置した基本が定まった。

百年の間に、気候災害や樹木間の競争などにより、開設時に植えられた多くの樹種が枯れてしまっただと思われる。

設計者が意図した百年後の森林公園の姿を知る由もない。しかし、公園の骨格を成すブナとツツジが彼の予想どおり立派に成長している姿に、ただ驚くばかりである。

(長谷川昭二)

あーれとっ

社会福祉費寄付金

▼渡邊守男さん(天神林)から 三万円

▼チェリークラブ(社交ダンス)から 木製長いす 三脚

広報かも四月号(No.610)に掲載した「四月一日現在の人口の動き(推計値)」に一部訂正がありますので、再度掲載します。

人口のうごき

5月1日現在
世帯 10,020 (+7)
人口 31,923 (-39)
男 15,424 (-15)
女 16,499 (-24)
()内は前月比
(4月異動分)
出生 19 (男8女11)
死亡 30 (男18女12)
転出 112 転入 84

人口のうごき

4月1日現在
世帯 10,013 (+8)
人口 31,962 (-67)
男 15,439 (-43)
女 16,523 (-24)
()内は前月比

発行 加茂市役所 新加茂加茂市幸町二丁目三番五号 TEL:025660080 FAX:0256602729
編集 総務課
印刷 柳小野塚印刷所
ホームページ URL: http://www.city.kamo.niigata.jp